

中二国語科通信

第2号
令和3年1月18日
国語科2年担当
堀之内・日高・奥池



湯から出てほわりと赤くなった子を
タオルにくるめば石鯨香る

コラムマラソン 第二回
私の「本気」

奥池大和

百人一首大会

補習七日目の十二月二十六日、今年度二回目の百人一首大会を実施しました。現在暗唱は九十首まで終わっています。知っている歌が増えて、少しは取れる札も増えてきたでしょうか？（マスク・換気の上、実施しています）



一枚の札に手が三本!



二百字の獅子

第二回のテーマは「東京オリンピックは開催すべきか？」でした。難しいテーマですが、ロジックツリーを利用してしながら頑張って取り組めたと思います。秀作を紹介します。

「コロナとの共存」

川口 駿

世界は新型コロナウイルスを恐れ過ぎではないだろうか。新型コロナウイルスはそれほど致死率が高いわけではない。さらに、ワクチンの開発が間に合えば、インフルエンザ程の致死率までに抑えることも出来るだろう。また、選手は東京オリンピックが中止になってしまうとモチベーションが下がってしまうだろう。このような状況だからこそ人々の楽しみを増やす必要があるのではないだろうか。

▼一文目のインパクトが大きいですね。マスコミの論調や世の中のムードとは逆の立場をとる意見ですが、しっかりと根拠を示して説得力をもたせることができました。

「開催すべきではない」

山下蒼太

私は東京オリンピックは開催すべきではないと考える。

なぜなら、現在進んでいる経費の削減で数百億円の削減ができる見込みだが、延期の時点でさらに数千億円がかかっているのに、削減したところであまり意味が無いからだ。さらにコロナの感染が拡大して観客を含むすべての関係者にPCR検査やワクチン接種を実施するのは難しいからだ。だから、東京オリンピックを開催しても残るのは感染者と莫大な費用になると考えた。

▼こちらは経済的な理由を主とした反対意見です。「削減できる費用」と「これまでにかかった費用」の差を根拠にした冷静さが光ります。

「開催すべきではない」

竹田汐里

私は、東京オリンピックは開催すべきではないと思う。

そう思う理由は二つある。一つ目は、コロナによる医療体制の崩壊である。このままオリンピックが開催されれば、海外から多くの人が入国し、たちまち感染者は増え、病院は感染者で溢れ返ってしまうからだ。二つ目は財政面である。コロナ対策費や大会延期に伴う追加経費負担で都財政がさらに逼迫するかもしれないからだ。

よって私は、開催すべきではないと思う。

▼この文章では、開催についての反対意見の理由を多面的に考察しています。さらに、複数の理由を簡潔にまとめることができている、文章を書く際にことばをしっかりと選び、表現を練り上げたということがうかがえます。よく頑張りました。

お知らせ

コロナによる休校に伴い、第9回漢字大会の日程が2月2日（火）に変更になります。なお、第10回は3月2日（火）実施予定です。

いま私のもとに、自分の好きなことで、とあるチャンスが偶然巡ってきました。それをぜひ自分のものにしてしまうと、一生懸命に取り組んでいます。ただ、他の人が頑張る姿を見て、私なんてまだまだだなぁと思うことがたくさんあります。

「本気」になるって難しい。他の人が「本気」になっている姿を目にすると、自信がなくなり不安になります。だから、これまで私は「本気」にはなれないのではないかと感じていました。でも最近、「本気」にもレベルがあるのかもしれないと考えるようになりました。他の人の「本気」には足元にも及ばないかもしれませんが、それが私の「本気」であることには変わりありません。やるべきことに対して、おざなりにせずそれぞれの「本気」で向き合うことが大切なのだろうと思いつつ、チャンスに取り組み続けています。

最後に、それが口先だけの「本気」であってはならないということ、自戒を含めて追記しておきます。